

平成30年度 第2回島田宿大井川川越遺跡整備委員会

日時 平成30年9月26日

午後2時～午後4時

場所 島田市博物館 講座室

次 第

1. 開会

2. 島田市教育委員会文化課長 あいさつ

3. 議事

(報告事項)

平成30年度川会所跡発掘調査について

(協議事項)

島田宿大井川川越遺跡整備計画(案)について

別冊 『島田宿大井川川越遺跡整備基本計画(案)』

4. その他

会議の日程について

5. 閉会

(報告事項)

平成30年度川会所跡発掘調査について

大井川川越遺跡川会所発掘調査概要

川会所

大井川における川越し業務については、当初島田宿内で行われていたと考えられる。元禄9年(1696)、代官野田三郎左衛門によりそれまで「川目代」とされていたが、改めて「川庄屋」として橋爪助左衛門と塚本孫兵衛が任命される。この頃、宿場より川越街道内に川会所が設置された。

享和年間には、交通量の増加に伴い川庄屋が2名から4名に増え、『島田宿書上控』によれば、川庄屋・年行事・添役など39名が勤務していたことがわかる。「宿方明細書上帳」によれば、建物の規模は間口六間半(10.9m)・奥行四間(7.3m)であった。

昭和43年3月から昭和45年7月まで行われた川会所の解体・移築組立工事により、柱の墨書・瓦のヘラ書きから安政三年に建てられたことが明らかになった。現在の川会所建物は、一時改変されていたが修復され、安政当時の姿に戻されている。復元された場所は、本来あった場所に住宅が建設されていたことから、約60m西側に移築・保存されている。

川会所発掘調査の成果

史跡整備に伴い、平成28年から3年間継続して発掘調査を実施している。

①平成28年度調査

川会所跡地に住宅が建設されていたことから、建物のない西側から裏側など6箇所トレンチを入れて調査を実施した。

調査の結果、1トレンチでは隣地との境界と思われる配石、2トレンチは建物らしき礎石の一部を確認した。部分的だが、粘土層に礫・黄褐色土を混ぜたような整地層が見られた。これにより、①整地が行われていたこと②川会所裏側にも建物があったことが確認された。

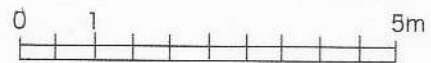
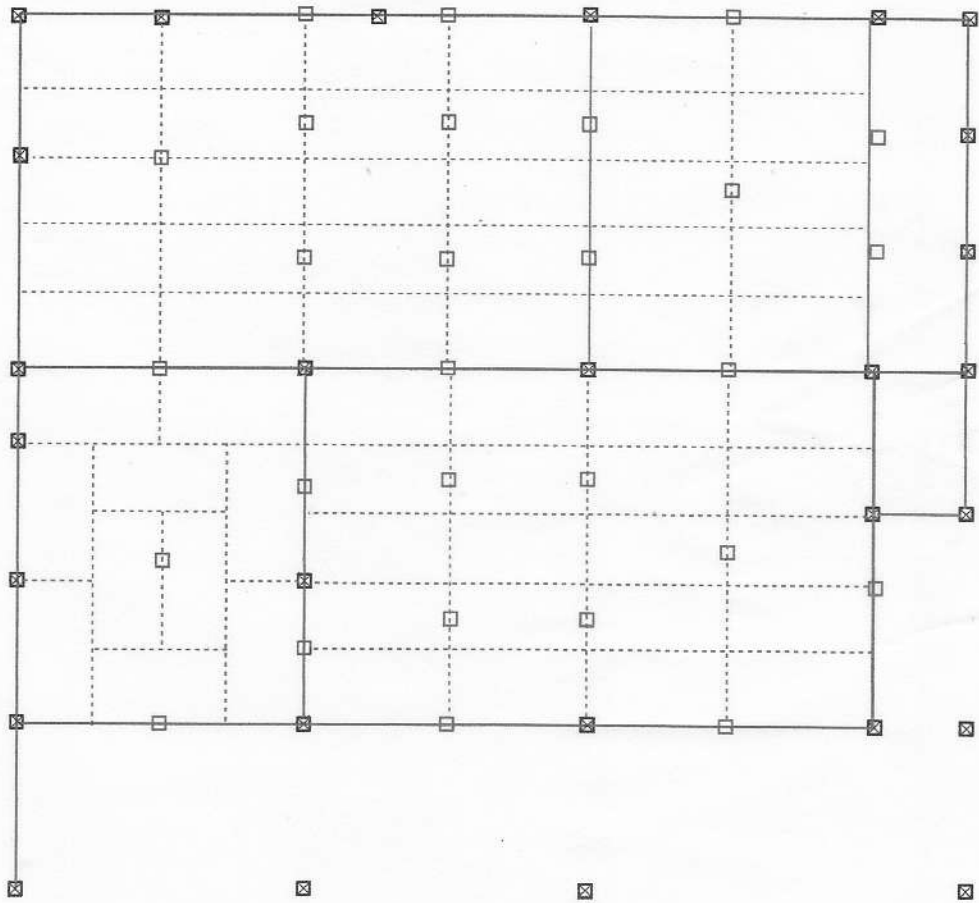
②平成29年度調査

平成29年度は、建物跡があった部分の痕跡有無について5本のトレンチを入れて調査を実施した。調査の成果としては、礎石下の「根石」や広範囲にわたる石敷、裏側の焼土痕などが検出された。根石は街道と平行に並び、川会所の間口と一致するが、奥行については痕跡がみられなかった。石敷は当初人為的と考えたが、自然堆積の礫が盛り上がったものであった。建物建設に伴い、粘土と砂を混ぜて敷き整地したことが伺える。裏側は焼土が詰まった柱穴が検出、周辺からすり鉢・皿などの食器類が出土しており、井戸に近いことから炊事場であったことが考えられる。

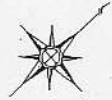
③平成30年度調査

平成30年度は、川会所の奥行を調べるため、5本のトレンチを入れて2年間行った調査の補足を実施した。成果として13トレンチから礎石5基・根石6基が確認された。礎石は、現在の川会所の間取りと照合したが、位置的にあわず、主軸が異なることから、安政以前の可能性が考えられる。

川会所跡平面図（柱・束位置図）



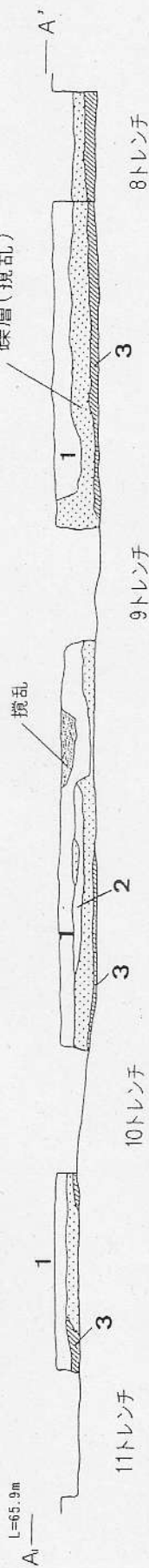
平成29・30年度 川会所跡発掘調査



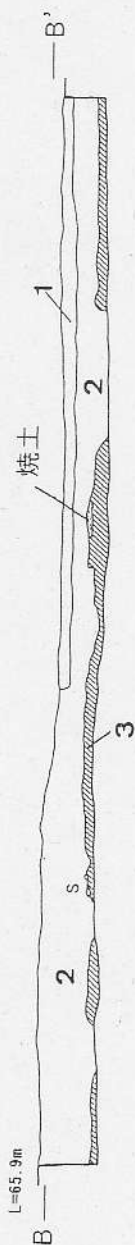
- S: 礎石
- N: 根石
- : 遺物出土地点
- (▲): 古銭

川会所跡トレンチ断面図

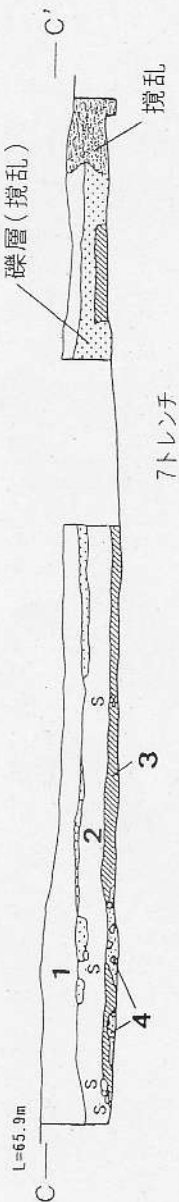
7トレンチ西壁



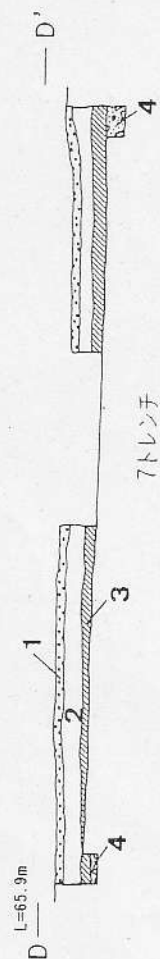
8トレンチ北壁



9トレンチ北壁



10トレンチ北壁



A-A'
 第1層 褐色土 (耕作土)
 第2層 灰黄褐色土
 第3層 灰褐色土 (遺物包含層)



B-B'
 第1層 灰褐色土
 第2層 褐色土
 第3層 灰褐色土

C-C'

第1層 褐色土
 第2層 灰黄褐色土
 第3層 灰褐色土
 第4層 礫層



D-D'

第1層 砂利層 (敷石)
 第2層 褐色土
 第3層 灰褐色土
 第4層 礫層



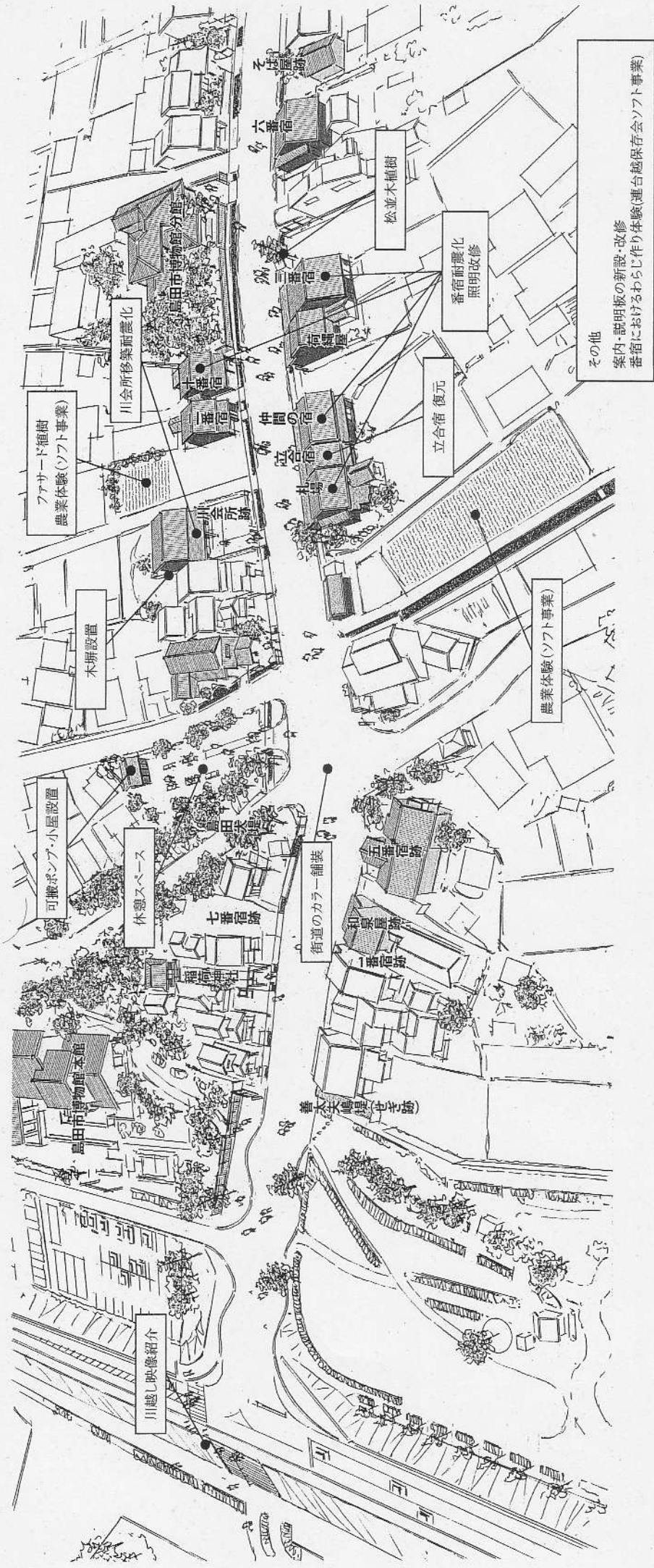
(協議事項)

島田宿大井川川越遺跡整備基本計画（案）について

島田宿大井川川越遺跡整備基本計画の前回計画案からの主な変更点
（全体）・写真・図版を増やし見やすくした。

- 第1章 P1 第1節「計画策定の目的」に川越遺跡の未来像を書き加えた。
P14 島田市全域図に第2節「歴史的環境」で触れた遺跡等を地図に落とした。
- 第3章 P19 建物用途現況図を挿入。
P21 道路・河川の写真を挿入。
P24 表の体裁を変更した。
- 第4章 P31 第3節 遺構および歴史的建造物の保存に関する計画
内容を地形等の遺構の保存について加筆
歴史的建造物の保存 → 耐震化工事
展示・活用の内容は9節へ
歴史的建造物の保存対象を江戸から昭和初期と記載。
P43 第4節 復旧（修復）に関する計画 名所変更
基礎調査の実施と復旧・修理のガイドライン作成
P44 第6節 遺構の表現に関する計画
川会所・立合宿、松並木敷きの復元整備を説明
P49 第7節 修景・植栽および環境整備に関する計画
目隠し植栽の実施。グミの木を検討。
民間農地で景観保全のための野菜等農作物の栽培。農業体験学習への活用。
松並木敷きの復元。
新東海製紙(株)の壁へ大名行列のウォール・アート・ペインティングの検討。
P53 第8節 動線計画
川越遺跡へのアクセス方法を追加記載。
アクセス方法の違いによる遺跡見学の動線ルートを説明。
P56 第9節 公開・活用およびその他の施設に関する計画
民有地の民間利用の促進。
市有の歴史的建造物での展示・体験学習、川越し関連団体への貸出。
P66 安全対策に関する計画 新設
道路の側溝落下対策、防災・防犯対策、道路交通対策を記載。
P67 第11節 案内・解説施設に関する計画
P71 第12節 地域船体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画
1（2）整備充実の方針 「歴史の道百選」のルートであることを加筆。
P74 第13節 便益施設および管理施設に関する計画 名称変更。
P77 第15節 管理・運営に関する計画
地域住民によるエリアマネージメント 加筆
P79 整備スケジュール 要見直し

川越遺跡整備イメージ図



今後のスケジュール

9月26日(水)	整備委員会
10月23日(火)	策定委員会 教育長説明
11月6日(火)	部長会議
13日(火)	庁議
30日(金)	文化庁五島調査官 来跡
12月10日(月)	市議会 常任委員会
12~13日	整備委員会
1月4日(金)	パブコメ開始
12日(土)	地元説明会
2月3日(日)	パブコメ終了
8日(金)	策定員会 回答決定
下旬	定例教育委員会
3月15日(金)	納品
20日(水)	検査
27日(水)	発送完了